

I S 酸素投与キット (I S エコライトベンチュリマスク)

再使用禁止

ISF0060

【警告】

使用方法

- 使用前に接続に誤りがないか、使用前及び使用中に各接続部が機密かつ確実に漏れや閉塞がないか、また、酸素の吹き出しを確認すること。[適切な呼吸管理が行えないおそれがある。]
- 本品を使用する際は患者の状態をモニタリングし、患者の状態に応じて生体情報モニタを併用すること。[患者の異常を発見できないおそれがある。]

【禁忌・禁止】

使用方法

- 再使用禁止
- 本品は火気のある場所で使用したり、油又はグリス等発火のおそれのあるものを近付けて使用しないこと。[火災、爆発による火傷のおそれがある。]

【形状・構造及び原理等】

1. 形状



2. 材料

マスクの装着部は熱可塑性エラストマー製である。

3. 種類

サイズ	マスク形状
小児用	
成人用	

4. 原理

機器から供給された酸素は、ベンチュリ効果により調節された量の空気が混合されて目的の酸素濃度に希釈される。マスク本体の周縁部を患者の顔にあてることにより、機器から供給された酸素希釈器で目的の酸素濃度に希釈したガスを患者の気道に供給するための通路として機能する。酸素希釈器の外周にネプライザアダプタを取り付けてエアロゾルを患者に供給する場合もある。

<酸素希釈器の種類と酸素濃度及び酸素流量の関係>

酸素希釈器(色)	酸素濃度	最小酸素流量	最大酸素流量
青	24%	2LPM	4LPM
白	28%	4LPM	8LPM
橙	31%	6LPM	11LPM
黄	35%	8LPM	15LPM
赤	40%	10LPM	15LPM
緑	60%	15LPM	15LPM

【使用目的又は効果】

本品は、酸素供給に用いる器具のキットである。

【使用方法等】

- 患者に必要な酸素希釈器を選択します。
- 酸素希釈器をエアゾールマスクの広口コネクタに押しひねりながら接続する。必要に応じて口コネクタと酸素希釈器の間に蛇管を取り付ける。
- 酸素チューブを介して酸素供給ラインを酸素希釈器に接続する。
- 最小酸素流量となるようにフローメータを設定する。最大酸素流量までは酸素濃度は変わらずに患者供給総流量が増加する。
- しっかり接続されていることを確認する。
- マスクが患者の鼻と口を覆うようにして当て、ストラップを耳の上から首の周りに掛ける。成人用は耳の下から掛けることも可能である。
- ストラップの両端をそつと引張り、マスクを患者の顔に固定する。

<使用方法等に係る使用上の注意>

- 空気取込口を塞がないようにすること。[空気取込口が塞がれると空気が取り込めず設定より酸素濃度が上昇するため]

【使用上の注意】

<相互作用(他の医療機器等との併用に関する事)>

- 併用注意(併用に注意すること)
気泡型加湿器と併用する場合、十分な酸素が供給されないことがある。[バックプレッシャーがかかり、加湿器の安全弁が作動することで患者への酸素流量が変化する]。このような場合は、加湿器を外して使用すること。

【保管方法及び有効期間等】

<保管の条件>

- 水濡れに注意し、直射日光及び高温多湿を避けて室温で保存すること。

<有効期間>

包装の使用期限欄を参照[自己認証による]

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

■製造販売業者

株式会社インターメドジャパン
大阪市中央区道修町1-6-7 TEL:06-6222-1951

■外国製造所

インターサージカル社 (Intersurgical Limited) 英国